

広報

ここのえ



2006

9

<http://www.town.kokonoe.oita.jp/>

No.604

この「夢」はみんなのもの

「夢」の始まりがすぐそこに来ています。2004年1月（橋本体は同年6月）から工事を進めていた九重「夢」大吊橋がほぼ完成（総工費約20億）。10月30日によいよ開通します。

大吊橋は長さ390メートル、高さ173メートル、幅15メートルの人道専用としては日本一。また、そこから眺める震動の流や九酔溪谷、その背後に広がる九重の山々の迫力は圧倒的。日本一の橋と真っ向勝負できるだけの力を持った風景がそこには広がっています。九重を訪れる人だけでなく、この町に住む私たちにとっても、体の奥底から沸きあがってくるような感動をその風景はもたらしてくれるはず。「夢」大吊橋は、九重町を再発見する場所でもあります。大吊橋が完成したことで、この町にはさらに多くの人が訪れるようになり、いくつもの交流が生まれてきます。町の総合計画で掲げた定住1万人・交流2万人の「3万人の人々が集いふれあう魅力あるまちづくり」実現に向けた大きな一歩となりますが、この交流から何を生み出すのか。私たちに新たなテーマが課せられることとなります。橋に「夢」があるのではなく、それを生かそうとする私たちの中にこそ「夢」があります。

この「夢」はみんなのもの。
10月30日、新たな「夢」への挑戦が始まります。

九重“夢”大吊橋落成式

現地特設テントにて開催します。

10月30日(月)

10:00~10:30 渡り初め(関係者のみ)

10:30~11:30 落成式(北方側駐車場・関係者のみ)

12:10~15:00 記念パーティー(北方側駐車場)

*九重町の郷土芸能や歌謡ショー、プラスバンド、コーラスなど。バザーもあり。

*10月30日は12時から一般開放になります。

問い合わせ 商工観光課 ☎ 76-3150

“夢”の始まりを祝おう

九重“夢”大吊橋町民見学会

オープンに先駆け、“夢”大吊橋を九重町の住民のみなさんに無料開放します。

10月20日(金) 10:30~17:00

10月21日(土) 8:30~17:00

10月22日(日) 8:30~17:00

*各家庭に無料招待券が届きますので、これをご持参ください。3日間限定です。

*10月20日は10時からの神事後、開放となります。

問い合わせ 商工観光課 ☎ 76-3150

みんなで“夢”を歩こう

九重“夢”大吊橋案内

位置：飯田震動の滝

開場：8:30~17:00(4/1~5/31、10/1~11/30)

8:30~18:00(6/1~9/30)

9:00~16:00(12/1~3/31)

*基本的には大吊橋を往復していただきますが、戻ってこられない方のためのシャトルバスを用意しています(有料)。

駐車場(無料) 普通車230台、大型バス32台、場内には物産直売所もあります。

往復料金(1人当たり)

料 金	団体割引
中学生以上 500円	30人以上 10%引き
小学生以上 200円	
小学生未満 無料	

問い合わせ 九重“夢”大吊橋管理センター ☎ 73-3800

“夢”はここから生まれた

「九重“夢”大吊橋」の名付け親
田崎英二さん



妻のフミ子さんと一緒に、8年前から始めたジョギングはフルマラソンに挑戦するまでに、また公民館などで仲間と一緒にする詩吟や書道、夫婦での登山と楽しみもいっぱい、日々“夢”を追いかけています。

「たまたま新聞で見かけて応募したのですが、まさか自分が選ばれるとは。最初は信じられなかったです。本当にびっくりしました」

応募総数5890通。その中から見事採用されたのが田崎英二さん(福岡県太宰府市)。大吊橋のことは福岡県内でもよく話題になっているそうで田崎さんも周囲からよく声をかけられるとか。

「どんなものだろうという思いや期待が日々高まっています」と自分が名付けた大きな“夢”との対面も間近に迫っています。

妻のフミ子さんの「たくさんの人に覚えてもらうには短いのがいい」というアドバイスを受けてから、「九重“夢”大吊橋」を考え付くまで、それほど時間はかからなかったといいです。

「豊かな自然に囲まれていると気持ちか

洗われる」と以前から九重町をよく訪れていた田崎さん夫婦。親しんだ光景を一字に凝縮したのが「夢」でした。

「夢というのは抽象的なものだけど、人生はそれがあからこそ楽しいものだし、未来への希望みたいなを感じる事ができますよね。日頃の喧騒(けんそう)から離れて、九重の自然の中で、いつもとは違う発想や思いを浮かべながら夢を見てほしい。そんな思いで名前をつけました。」で囲んだのは、そこにに行けば夢がみつかるというのを特に強調したかったからです。

誰もが持っているはずだけどつい忘れがちな、夢。それを改めて思い起こさせてくれるのが大吊橋というわけです。幸せの未来へ架け橋という感じでしょか。

「私の夢ですか?これからも夫婦でロマンを追求めることですかね。一緒にいろんなところを旅したいと思います(笑)」



二十歳と
大人の間に
第52回成人式

第52回成人式が8月15日に九重文化センターでありました。今年の新成人は155人で、そのうち115人が出席。

新成人代表の小田加奈恵さん(串野)に成人証書を渡した後、坂本町長は「九重町は自律に向けたまちづくりをしています。みなさんも20歳を区切りに、自立(自律)をめざしてください」と述べた上で、蛟島輝明さんの言葉「人に接する時は、暖かい春の心。仕事をする時は、燃える夏の心。考える時は、澄んだ秋の心。自分に向かう時は、厳しい冬の心」を贈り、激励しました。来賓祝辞があった後、梶原嘉浩さん(日向)が代表で謝辞。梶原さんは、両親への感謝や高校以来没頭しているキックボクシングで感じたことなどを紹介、「この努力を形にしてまずは、ひとつひとつ勝ち進み、プロのリングに立てるようになりたいと思っています。何事にも感謝を忘れずに、一度きりの人生、一瞬一瞬を大切に生きていきたいです」と抱負を語りました。

会場で声を聞いてみると、学生が多いせいか大人になったという実感はいまひとつという人が多め。ある女性は「20歳になったという実感はありますが、大人になった実感はありませんね」。気になる新成人たちの今後ですが、就職状況は景気の上向きなどを反映してやや明るさを取り戻しつつあるようです。



榎本泰士さん

迷いはありません。
これに決めましたから。

「あまり成人式を迎えたかと思わないんですけど、20歳になってここまで・・・クサイ話なんですけど、両親のおかげだなあって、直接はありがとうとは言えないんですけど、そういう気持ちです」

■いつも思うことがあります。太陽が容赦なく照り付ける暑い日だろうが、雪の降るような寒い日であろうが、外で作業をする人たち。本当に大変だろうなあ。「暑い仕事」。そんな言葉が頭をよぎります。

■榎本泰士さん（申野）。この夏は県内全域でのせん定や草刈が主な仕事でした。20歳。すっかり日に焼けた笑顔がとても印象的です。

「夏は相当暑いし、冬は相当寒いです。おまけに、なぜか夏に限って暑いところに、冬に限って寒いところにいくんですよ（笑）」

自宅が造園業を営んでいる関係でこの仕事に就いて、もうすぐ1年。

「まだ、わからないことが多いんですけど。現場で作業して終わったときの、がんばったという爽快感が楽しいですね」

ここまでには迷いもありました。同級生の多くが大学に進学するのを見て、これで良いのだろうかと思ったことも。

「この仕事は昔から好きだったんですが、周りからは将来が保証されているねえとかよく言われていたんですよ。それには相当抵抗がありました。でも、親父の代から始めた仕事なんで、一代で終わるわけにはいかないなあ、と思って」

今では、お客さんから「二代目ががんばってね」と声をかけられることにもうれしさを感じると話します。

■まずは造園の資格免許を取ることが当面の目標。そのためには本での勉強だけでなく、現場の先輩たちも良き教科書に。

「先輩たちの作業の丁寧さや仕上がりのきれいさとか、すごく勉強になります。自分が気持ちよい仕事をするとは、回りも気持ちよくするし、お客さんの信用を得ることもつながるんだというのも教えられました。造園のおもしろさですか？基本技術の決まりがあるものの、一人ひとりの考え方が必ず個性という形で出てくるあたりかな。まだわからないことが多いんですけどね（笑）」

仕事以外では地元野球チーム「レクサス」での活動が楽しみ。ポジションは外野とピッチャー。そこでの世代を超えた交流も「みんなとてもよくしてくれるし、相当に楽しいです」。

将来、俺はこの仕事を継いでいけるのだろうかと不安になることも。しかし、こうきっぱり言いざります。

「他の仕事があるんじゃないだろうかとかの迷いはありません。これに決めましたから」



祝九重町成人式

東飯田



祝九重町成人式

野上



祝九重町成人式

飯田



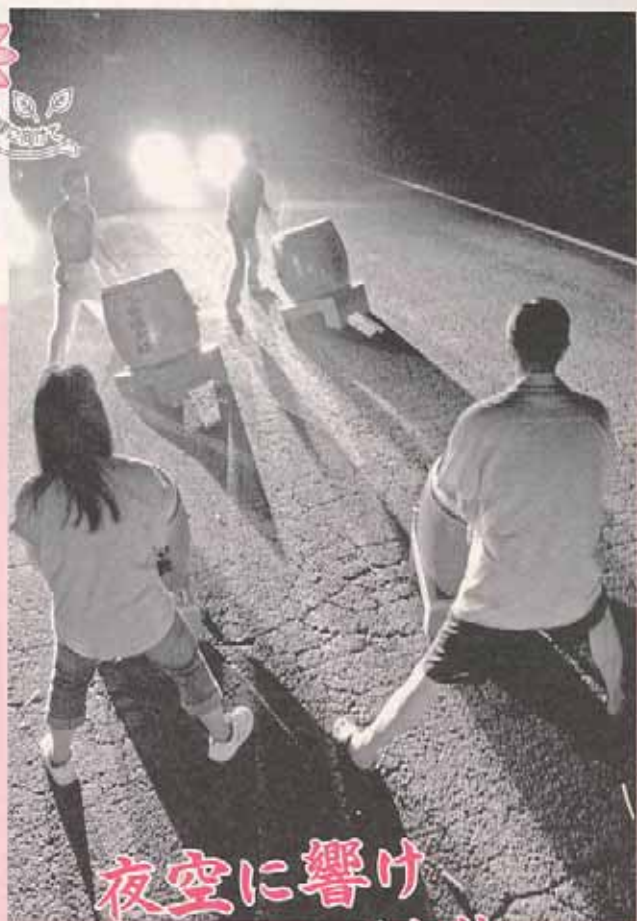
祝九重町成人式

南山田

■ 今年の新成人

地区	東飯田	野上	飯田	南山田	合計
人数	36	34	30	55	155

※今年の実数は、成人式の会場にて



夜空に響け 九重樽太鼓

る重低音。地面から観客席に伝わる震動は見る人の体の中を突き抜け、血を揺り動かす、なんともいえない爽快感をもたらします。まして太鼓を叩く人はさぞかし。

「そうね。叩いているときは、五臓六腑(ごぞうろつぷ)に染み渡る感じがいいですよ。それに、お客さんがのって一緒に手を叩いてくれて会場との一体感が出ると、こちらもうれしいし、とても充実感があります」

他のメンバーも同じ。ズーンとくる太鼓の震動音に身をまかせながらも、これを迎え撃つごとく(砲(はち)を握り続けることは、「他のことを忘れて打ち込めるので、ストレス解消になる」とその魅力を口々に語ります。

「それに、地域の幅広い年代の人と交流ができるのが楽しいですね」
現在メンバーは20代から50代まで8人、うち女性が2人で、普段の仕事も会社勤めや自営などさまざま。

太鼓は力任せに叩いても音は出ず、手首にスナップを利かせながら叩くのがコツ。そして基本となるのがリズム感。樽太鼓の場合は、アクションが入ってくるため、これとリズムの一体感が出るまでには、初心者のおよそ1年かかります。一番の近道は、ただひたすら練習。

これはベテランにとっても同じで、練習のない日は、信号待ちで車のハンドルを叩いたりしてリズム感を保つようになっているそうです。

「生ステージやテレビで太鼓の演奏があると、それを見て研究するのもいい勉強になります。歌謡曲のリズムが参考になることもありますよ」

九重樽太鼓は、ひとつの曲の中でバッチワークのようにさまざまな曲調を盛り込むのが特徴で、このことにより観客を最後までひきつけることができます。取材時にもなごやか、かつ真剣に曲の組み合わせについて打ち合わせが続いていました。こうやって出来た持ち曲は現在4曲。月2回のペースで、トラックに荷物を詰め込んで、イベントなどに参加しています。これまで、キャナルシティ(福岡市)やビッグアイ(大分市)でのステージも経験。太鼓を持って南アフリカまで行き、そこで演奏をしたこともありました。

「ただ、仕事の関係でメンバーがそろわず、せつかく声をかけてもらえたのに出演できないこともあるんですよ。そんなときは本当に心苦しいですね。だから、これからメンバーを増やしていきたいと考えています。曲も増やしたいですね。全部で12、3人が理想です。町内の人なら誰でもオッケーです」

九重樽太鼓に関する問い合わせは代表の高瀬賢大さん(☎78-18303)まで。



吉光マリア(コニー)さんは夫の建男さんの練習などについていくうち、自分もやってみたいと思い加入。「最初はリズムに乗っていくのや他の人に合わせていくのが難しかったです。でも、すごく楽しいですよ。イベントなどでみんなと会うのも楽しいし、私もハンドル叩いて練習しています」
今や曲作りにも積極的に関わるとの腕前に。とにかく熱心で、覚えるのも一番早かったというがメンバーの共通意見。ところで太鼓のおもしろさって何？
「それぞれ演奏の仕方に個性が出る場所ですね。性格が出るんですよ。あ、この人は負けず嫌いだなとか、聞いていて判ります。夫ですか？太鼓の時は夫婦ではありません。ライバルです(笑)」





これは大冒険といってもよいかもしれませぬ。1953年に発表された小津安二郎監督の「東京物語」。今もなお世界中の映画人に影響を与え続けているこの作品を下敷きにした脚本「新・東京物語」が完成。上演に向けた準備が九重町民劇場で進められています。脚本・演出は林秀彦さん(下写真左)。テレビ・映画の脚本家として活躍、「七人の刑事」や「鳩子の海」など数多くのヒット作品を手がけたほか、著書も多数。昨年から九重町に移住。「みなさんの熱意が私を動かした」と昨年来、町民劇場への支援活動を続けています。

林さんは「東京物語」を「世界で日本人しか持ちえない繊細な神経、温かい親子の情、お互いの優しい思いやり、そして今はほとんど消滅した家庭内の細やかな人間感情など、かつての日本のよさを静かなタッチで描いた作品」と称賛。これを舞台化することで「我々の先祖がもっていた美しい日本人の伝統を学び取ってほしい」と訴えます。

今回の上演は「東京物語」の脚本を教本として勉強を重ねるうちに「いっそ、これを舞台にしよう」と林さんが発案したもの。

「最初は巨匠(東京物語を書いた小津安二郎と野田高梧)の脚本にふられること自体に感動しました」と町民劇場事務局長の河野ちえ子さん。ただし、非常に淡々とした印象の映画。これをどう舞台化するのか最初は戸惑ったのも正直な心境。

「私たちの舞台は善と悪という構図のものが多かったのですが、今回はまるつきり違うので、最初聞いたときはびっくりしました。映画も団員全員が見たのですが、最初、私はびんと来ませんでした。でも見終わって、考えれば考えるほど、いろんな見方ができるし、かめばかむほど味が出てくるのかな。感動がじわりといつまでも続くんですよ。今では強く惹かれています。ただ、これをどう舞台で出すかが課題。すごいものを始めたな、という感じです」

一方、出演だけでなく演出助手も担当する後藤

浩二さんは東京物語を「物静かだが、非常にメツセージ性の高い作品」と評価。歳を重ねることに作品の見方が変わってくるとよく言われる「東京物語」。世代間のギャップなど、その後の日本人の有り様(よう)を暗示するような要素も描写されており、新・東京物語にも引き継がれています。

「新・東京物語は、訴えたいテーマが大前提としてあります。それを脚本と林先生の演出を通じて役者一人ひとりが十分咀嚼(そしやく)し、理解したうえで、それぞれの演技につなげていくことに特に力を入れています。大きなテーマの中で自分はどういう立場にいるのか、きちんと理解するのが非常に大切。より高いレベルの技量が役者には求められると思いますね」

最初から最後まで役者がほとんど出さずっぱりという舞台構成になるため、自分が話の展開の中心にいらなくても「全体の中の自分」を演じ続けなければなりません。この点でも全体の流れやテーマをしつかりと体にしみ込ませることが求められています。ある団員はセリフを最初から最後まで録音し、何度も何度も繰り返し聞いているといいます。

「まりがない。かつたるい。なんとなくもたもたしている」

8月下旬の練習での一コマ。穏やかながらも林さんの鋭い指示が飛びます。その上で、「行間を読めない。これをしっかりと押さえないと退屈な舞台になってしまう」と諭します。

「人間関係という相対的なものを凝縮したのが脚本」

一見、重要でないように思えるセリフも実は重要。無駄なものがあったくない。磨きに磨かれて最後に残ったもの。それが林さんの脚本です。

「役とは立場。相手の立場がわからなければ作りはできない。相手の立場によってイントネーションなども変わってくるし、相手の立場がわかれば、おのずと役はできてくる」。セリフとセリフとの間の感情の揺れや役者の視線の向きなど、ひとつひとつ入念なチェックが練習の間続きます。日本語の美しさもこの舞台で特筆すべき点。美

しさをさらに引き立たせるため、「演劇的」ではなく、「映画的」な話し方で舞台を作るといっても今回が初で、この点でも団員の挑戦が続いています。

「町民劇場の作品はいつも自分たちが初めてでしたが、今回は違います。映画の中でプロの役者が演じたものだし、それも大傑作をやるわけですから、今回が一番大変。こんなに難しいものなのかって。確かに勉強になっていきます。今回の舞台を通じ、それぞれが自分の感性を高めることで、これからの自信にはなっていくと思います」と前出の後藤さん。

「それにお客さんには自分自身のテーマを持って見てもらいたいです。みんないろいろと悩みを抱えていると思いますが、この作品は様々な見方ができますから、その中から自分のテーマにあつたものを見つけ出してもらえたらと思います」

町民劇場がどのような舞台を見せてくれるのか。これほど興味深いのも今まで以上。本番は10月15日。

大傑作に挑戦 九重町民劇場



歩いていける 場所である いい催し

○町内各地の盆踊り訪問

人口減少のおおりに受け、昔ながらの催し物は衰退傾向にあります。しかし、盆踊りは健闘。今年も町内各地で行われました。特に多かったのが8月14日。約3時間で7箇所の会場を回ってみました。踊りそのものの違いもあるようですが、盆踊りを「地域おこし」のひとつとして位置づける動きも強まっており、プラスチックの取り組みに地域ごとの特色が出ていました。

盆踊りの起源は16世紀といわれます。当時、盛んだった太鼓などを打ち鳴らしながら念仏を高唱する「踊り念仏」の踊りの部分が強調され、念仏踊り化し、時代が経過するとともに宗教性が薄れ娯楽性が強くなってきたものとされます。農村部まで広まり定着したのが近世。以後、明治の一時期禁止されたり、戦時中に中止されたり、といったこともありました。戦後に復活。町内では青年団が中心となり運営した時期があったものの、同団の衰退で途絶えるところも出てきました。しかしその後、地域住民の力で復活したケースも多く見られます。

そういえば、盆踊りへは歩いて参加する人が多いようです。歩いていける場所であるこんな催し。なかなかいいものです。

18:56



1. 湯坪地区

(湯坪基幹集落センター・準備中)

まずは湯坪から、と思ったものの準備中でした。ここは、秋祭りの楽杖の伝承活動などをする「湯坪保存会」、地元青壮年による地域づくりグループ「昭和会」が中心となり運営しています。周辺に民宿などが多いことから踊りが始まるのは21時以降になるとか。その頃再訪することにして次の会場へ。



共助

19:52



2



19:18

2



19:26



19:55

3. 野矢・坂上地区 (野矢小学校)

こちらと同じく昔は「野矢青年団」が運営をしていましたが、団消滅とともに消滅。復活に向け地元の若者が立ち上がったのが1992年。以来、途絶えることなく続いています。また、盆踊り復活を契機に「野矢ん夢追人」を結成。現在は約20人で、小学生との交流事業などを行っています。メンバーの何人かは中年になりましたが、変わらず夢を追いつけています。今年の盆踊りは約280人参加。会場の周りの竹提灯も粋でした。

2. 東部ふるさと祭り (東部集会所)

こちらはもっともイベント化が進んだ盆踊りといえるでしょう。名称も「東部ふるさと祭り」として23回目。この地区もずっと昔は青年団が運営していましたが、団消滅により盆踊りもいったん途絶えました。数年後復活したときの規模は7人で、その輪の中心は踊りの口説きを録音したラジカセだったといいます。今では300人が参加、歌謡ショーあり、出店あり。そして締めは花火大会とビッグイベントになりました。



共助



がっちり
まとまっています
川西地区夏祭り

今宵のひとは、ふるさとをしつかり楽しめ、その良さをたつぷりと味わいましょう。

南山田川西地区(川西1-3)の夏祭りが8月16日の夕方から南山田中学校運動場で行われました。

川西体育協会(佐藤憲一郎会長)が主催したもので、約20人の実行委員会を結成し、準備。「夏祭りは今年で2回目です。その前はナイター運動会を6回しましたが、より親睦を深めようと祭りに切り替えました。やる気のある人がたくさんいるので、準備などで苦労することはなかったですね。今日はとにかく楽しんでほしいです」と佐藤会長。チラシを配るなどして各家庭に呼びかけたところ約300人が参加。焼き鳥や綿菓子、カキ氷、ヨーヨー吊りといった出店の一方、ステージ上ではカラオケ大会と、とても賑やか。パン食い競争やビール早飲み競争を経て、最後は盆踊りで締め。

子どもの多さも印象的なこのお祭り、「子どもの顔を覚えるのにも良い機会になっています」と参加者の一人は話していました。

④ 20:09



④ 20:21



4. 野上地区 (野上小学校)

活性化の気運が高まりつつあるようです。今年から地域づくりグループ「景友会(12人)」が焼き鳥や綿菓子の出店を始めました。「盆踊りを盛り上げようと参加しました。野上地区にはいろんなグループがあるので、一緒に参加できるといいですね」とメンバーの一人。また、役場の野上地区出身職員によるクイズ大会も初登場。この地区ならではの行政区ごとに仮装をする取り組みも健在です。約200人参加。

⑤ 20:36



5. 粟野地区 (粟野公民館)

伝統行事を伝えること。どこでも大きなテーマです。今年は約200人が集まった盆踊り。10年ほど前に青壮年が口説きや太鼓の手ほどきを受けたことで、継続の力がぐんと強くなりました。「当分は大丈夫だが、いつまでも続くよう、さらに若い世代に引き継いでいきたいです」と関係者。毎年、ALT(外国語指導助手)が参加するのも特徴。主催する「粟野振興会」が2月に行う「粟おこし駅伝」でも毎年インターナショナルチームが参加。粟野地区、実は国際派なんです。

⑥ 20:55



⑥ 21:01



6. 恵良地区 (農民研修センター・左写真)

こちらも青年団消滅→盆踊り消滅→住民による復活という流れ。復活の際、大きな力となったのが「恵良青年会」。当日も焼き鳥やカキ氷の店を出しました。約200人参加。

下旦地区 (松岡公園・右写真)

下旦地区も取材したいと思って駆けつけたのですが、ちょうど終わったところでした。残念。

⑦ 21:43



7. 湯坪地区 (湯坪基幹集落センター)

再び湯坪に。周辺の民宿などから駆けつけた浴衣姿の観光客が目立っていました。長崎から来た20代の女性は「見るのも踊るのも初めてです。とても楽しいです」。また、太鼓の音を聞いて喜び勇んでという70代の男性(大分市)は「昔を思い出、とてもうれしい気持ちです。こういっただのがなくなっていくのはさびしいので、ぜひ残してほしいです」。一番夜更かしの盆踊りはここ。夜10時過ぎまで賑やかな踊りが続いていました。約200人参加。中心的に取り組んだ「湯坪保存会」、盆踊りが終わり次第、秋祭りの準備です。

共助



緑茶づくしの
まちづくり
新茶まつり

緑茶の入った饅頭、くずきり、カクテル、せっけん、などなど。緑茶づくしの「第1回新茶まつり」が7月26日夕方から南山田製茶工場(町田)で行われ、約70人が参加しました。

長年JAが運営してきた同工場。一昨年廃止論が出たことをきっかけに、昨年同工場に19年間勤務経験のある竹尾友彦さん(九重観光サービズ株式会社)がJAからの委託を受け運営を続けてきたところ、存続への道筋が見えてきたことから、製茶産業の再生を願うこの催しを開催。また、同工場周辺一帯はかつてJAや地区公民館を拠点に地域づくりが進んでいたことから、そういった場を再生し、「自律に向けたまちづくり」の一助になりたいという思いもあるようです。

ステージでは歌謡ショーや舞踊、カラオケ大会などがあり、参加者は夜遅くまで楽しみました。

「やればできる。行動を起こせば、より良い方向は見えてくるし、結果がついてくると感じました」とこれまでの運営を振り返る竹尾さん。「これからも緑茶で地域振興の力になりたい」と抱負を話していました。

カテキンやビタミンを多く含む緑茶は、花粉症などのアレルギーやガン抑制に効果があると注目されており、「健康飲料」としての評価は上昇中。それを使った商品も人気を呼んでいます。



燃える思いを さりげなく

時松 ミエ子 さん

飯田奥郷、県道飯田高原中村線の道沿いの両脇約100メートルに「サルビアの花の赤い行列」が出来上がっているのをご存知ですか。

このサルビアを作っているのが時松ミエ子さん。自宅前の道で始めて約10年。今やその数1000本あまりになりました。地元の人だけでなく、すぐ近くに湯坪や筋湯の温泉があることから観光客も車を止めて、しばし見入ったり写真を撮ったり。「私にできるのは花ぐらいなの

で・・・(笑)。でも、みなさんに喜んでもらえるのが一番うれいですね。旅館や民宿の女将さんなどからありがたうって言われることもあります」と時松さん。

サルビアに注目したのは、色鮮やかな花を長い期間楽しめるため。高さが低く交通の支障にならないのも好都合でした。それにしても、これだけのものをたった一人であるのはすごい。4月上旬に種を植え、1ヵ月ほどでポットに移植し育苗。5月

末から6月上旬にかけて道沿いに定植し、夏が始まるとともに花が咲き始めます。日照りが続くときは朝5時ごろから水撒き、でも苦痛ではありません。

「朝起きて、きれいに咲いているのを見ると、いいなあと思うし、今日も一日がんばろうと思います。2、3日家を空けるようなときはやっぱり気になりますね。サルビアは子どものようなもの。花はいいですよ。命の次にはこれです(笑)」。花が咲くのは、初霜の降りる

10月末まで。翌年に向けた種取りの一方、うまく育てるコツという土作りもしつかりと。まさに、時松さんの1年はサルビアとともにあり。

「そんなにたいそうなことをしているわけがなく、自分が好きで植えていたら増えただけ」と照れ笑い。いよいよ時松さん、ヨーロッパでは、それぞれの家庭が家の出窓に自主的に花を飾るなどして、町の景観を作っているといいます。まちづくりってそういうもの。だから時松さんのしていること、実は「たいそうなこと」なんです。時松さんの花の輪も着実に広がっています。近所には年齢の近い友だちが二人おり、その二人もマリーゴールドなどを道沿いに植え始め、この一帯はちよつとした花の道という趣。お互いに情報交換するのも楽しい時間です。また昨年からは寿大学に参加。専門部は園芸部で、そこで種や苗のやり取りをするのもとても楽しいと笑います。

「なるべくプラス志向でいかなければならないと思っている。花を育てるのもその力になっていくようです。ずっと続けていきたいですね。もう来年に向けた作戦を練っています」

サルビアの花言葉のひとつが、燃える思い。時松さんの思いがさりげなく込められた花の行列。見ごろは10月下旬まで。



台風に備えて

毎年この時期には台風による災害が発生しています。被害を最小限にするためには日頃の心構えと万全の備えが必要です。

①日頃からの心構え

テレビやラジオ、防災無線等の気象情報や注意報に耳を傾ける習慣をつけ、家族みんなで防災について話し合ひましょう。

②台風が近づいたら

家の窓や雨戸等を補強するとともに家の周囲の飛ばされそうな物(物干し竿や植木鉢等)を室内に取り込むか固定するなどの対策をしておきましょう。

③避難するときの注意

単独行動は避け地域の人々と協力し合って避難しましょう。回り道でも、あらかじめ確認しておいたもつとも安全な道順を選んで避難しましょう。また避難するのに必要な最小限の非常持ち出し品(懐中電灯やラジオ、貴重品等)を準備しておきましょう。

④台風が去っても

台風が去っても増水した河川や用水路、また、土砂災害の危険がある場所等には近づかないようにしましょう。



守りたい自然がここにはある 001

高原の花、いつまでも

飯田高原の泉水一帯を走るグリーンロード。爽快な眺めのこの道は観光客に人気ですが、地元住民にとっても、ふるさとの良さを再発見することもしばしば。「春は黒、夏は青、秋は赤、冬は白」の言葉どおり、四季折々の自然の移り変わりを体感できます。



飯田高原では、ススキなどの在来種と競合するとされる外来種のセイタカアワダチソウやハンゴンソウが繁殖し始め問題化しており、その駆除の動きも広がっています。

そんなグリーンロードの夏を彩る山野草のひとつがヒゴタイ。高さ約1メートルで7月から8月にかけて青紫色の花を咲かせます。今年も花を楽しみながら車を走らせていると、なにやらチラチラと揺れる白いものが花の脇に。近づいてみると、はがき大の紙と竹で作った看板。そこには「この野草を摘み取らないでください」の文面が。「九重の自然を守る会」と「環境省パークボランティアの会」が主催している。約100カ所に設置した。同会では、種をまくなどヒゴタイの増殖・保護活動をしてきたものの、持ち帰る人が多いことからやむにやまれず、「写真を撮る人には不便かもしれないが、いづれ看板の必要がなくなるようにしていきたい」と、協力をお願いしたいと関係者。持ち帰る人が大幅に減る効果も出てきていると話していました。



守りたい自然がここにはある 002

地域と手をつなぎ、もう一度



ミヤマキリシマ(深山霧島)は九州の山地に生えるツツジの一種。葉、花とも小形で、5月から6月にかけて開花。九重町の町花にも選ばれています。近年、盗掘などにより数が減っているといわれています。

あのすばらしい風景をもう一度。高校生が立ちあがりました。玖珠農業高校生物生産科の生徒7人が昨年度から実施しているミヤマキリシマの保護と繁殖などの研究を、7月25日に山香農高で行われた第53回大分県学校農業クラブ連盟大会で発表。優秀賞に選ばれました。同大会は県内の農業高校で行われている研究などを発表するもので、毎年開催。玖珠農高ではブルーベリーに関する発表もしました。発端は昨年春、タテ原湿原のラムサール条約登録を機にミヤマキリシマの花でいっぱいになる飯田高原の景観を取り戻したいと、町と観光協会より、ミヤマキリシマなどの希少植物の保護や繁殖指導の協力依頼が同校にあったことがきっかけでした。さっそく同校一連の行動を振り返り、「地元住民の環境保全に対する意識の高さを知り、この活動を通じて、さらに環境保全の輪が広がり、私たちがその一翼を担っていることに喜びとともに責任を感じています」と生徒たち。一番伝えたいのはこのことで、発表題目も「地域と手をつなぎ、世界の湿原にある風景をもう一度」。優秀賞受賞も地域との連携が高く評価されたことによるものと同校関係者。今後、この活動を継続するとともに、成果をアピールしていきたいと話していました。

ふるさとを知り、売り込もう

SCRAP



飯田少年クラブ（27人）の観光動態調査が8月16日に長者原一帯で行われました。この調査は10年ほど前から実施。通行車両の県別台数調査と観光客へのアンケートをするもので、子どもたちは5〜8人単位で班を作り、午前10時から午後2時まで調査をしました。

アンケートは、訪れた回数や宿泊の有無、飯田高原の魅力についてなど6項目。観光客は突然のアンケートにもかかわらず、気さくに応じていました。質問項目には、「夢、大吊橋に関するものもあり、アンケート協力者にはチラシを渡し、しっかりと吊橋の売り込み、「こっやってチラシをもらおうと、行ってみようという気持ちがありますます強まりますね」とアンケート協力は話していました。

同クラブでは、調査結果を集計の上、「飯田公民館だより」で公表するほか、町や県にも提供したいとしています。

飯田少年クラブは「ふるさとのことをもっと知ろう」と飯田小6年生が毎年参加するもので、8月28日にはヤフードーム（福岡市）へ日帰り研修。普段入ることのない選手控え室などの見学をしました。このほか、乗馬や一泊研修、しめ縄づくりなどたくさん取り組みをしています。



豊後牛振興の拠点が再出発

SCRAP



大分県畜産振興公社の運営する町田牧場と町田パーネット牧場を、来年4月以降、株式会社大分県畜産公社（大飼町・栗嶋正明社長）が運営することになり、施設譲渡を受ける九重町、両施設の土地を所有する町田牧野組合（永樂通祐組合長）を加えた4者による覚書の調印式が7月28日、役場町長室で行われました。

大分県では1971年より町田牧場を運営、最盛期には300頭以上の牛を出荷。1995年には消費者へのPRなどを目的に町田パーネット牧場も開設。豊後牛のブランド化など畜産振興に大きな役割を果たしてきました。しかし、両施設を運営してきた大分県畜産振興公社が来年3月で解散することとなり、受け入れ先を探していたところ、施設そのものを九重町、その運営を株式会社大分県畜産公社が受け持つことになり、今回の覚書調印となったもの。同社は1972年創業。これまで食肉加工を手がけており、店舗経営は初めて。調印式に参加した樋口副社長は「相当の覚悟を持って引き受けることにしました。九重町は自然景観を生かした観光がさらに発展するところ。私たちもその一翼を担うつもりで、全力を挙げて取り組んでいきます」と抱負を述べました。

SCRAP

園まるごとお祭り会場

野上こども園（年長組）で8月3日に「夏祭り」が行われました。この催しは園に通う児童の保護者などが中心となり、昨年からはまったもので、夏の夜の楽しいひと時を一緒に過ごすそうと、地域住民なども加わり、200人以上が集まりました。

まさに、園まるごとお祭り会場。輪投げや綿菓子、ヨーヨー吊りなどのほか、抽選大会や職員の出し物、腹話術など楽しい催しがいっぱい。年長組だけでなく、0歳から3歳までの年少組も楽しめる内容となっており、特にダンボールを使い1週間かけて作ったという「冒険屋敷」は小学生にも大人気。長蛇の列ができていました。あまりの人気ぶりに、園では祭り後も冒険屋敷は、当分の間そのままにしておくことに決定。子どもたちの格好の遊び場となっていたようです。

「子どもたちの笑顔を絶やさないためにも、来年もがんばってやりたい」

祭り関係者はそう話していました。



真夜中のふるさと再発見



来日早々参加の新ALTのパチェコさん(15ページ)。その後ろに偶然写っているのはセブーン・イレブンみどりの基金のみなさん。出場宣言をしたらスタッフから「無謀だ」と言われたそうです。しかし、二人とも完歩しました。



高原の夜のおいしい空気をたっぷり味わいながら、2年ぶりに復活です。第19回飯田高原ナイトハイクが8月5日の夕方から6日の朝にかけて行われました。

昨年は、集中豪雨の被害が大きかったため中止されたこのイベントですが、多くのファンが待ちわびていました。県内外から460人が参加、ハーフコース(23・7キロ)、フルコース(42・195キロ)合わせて424人が完歩しました。

実行委員会が準備した9000人分のカレーライスで腹こしらえた参加者は、午後6時にスタート・ゴールとなる泉水グリーンパークを笑顔で出発。途中、冷やレトマトやトウモロコシ、ゆで卵といった地元産品を味わいながら標高差約500メートル(牧ノ戸くさの口)のコースを歩き続けました。スタートから3時間、ハーフコースの完歩者(というかこれは完走者でしょう)から始まり、フルコースの最後となった10時間45分まで、ゴールした人は一様に疲れた様子でしたが、難行をやり遂げた満足感が表情に出ていました。

大分市から参加した50代の男性は「ゴール直後は二度とこめんだと思うのですが、時間がたつとまた出たくなくなります。普段経験することのない夜の真つ暗闇が魅力です。また、5回目の参加という町内の男性(63歳)は、孫2人と一緒「途中に出てくるトマトやトウモロコシのおいしさを再発見しました。もっと地元の人が出るといいですね」。

固定ファンが多いナイトハイク。やみつきになる魅力があるようです。来年は20周年。ぜひ、住民のみなさんも多くの参加を。ふるさとの良さをきくと再発見できますよ。そういう自分も来年は10数年ぶりに参加してみようかな。

平成18年 事業所・企業統計調査

10月1日は事業所・企業統計調査



全国すべての事業所や企業が調査の対象です。9月下旬から調査員が調査票を持ってみなさまの事業所をお訪ねします。どうぞ協力ください。調査員は「調査員証」を必ず携行しています。

総務省統計局 九重町

News



Scrap book

各分野から寄せられたニュースを集めました。

木の命を形に

SCRAP

共助



東飯田地区の小中学生11人が家作りにチャレンジする「おおいた子ども大工道場」が始まり、7月26日に竜門の現地で入門式がありました。

この道場は、大分県建築士会玖珠支部(穴井和興支部長)が県事業の一環として行うもので、地元大工の指導を受けながら、子どもたちが伝統工法による建物を実際に建築するのが特徴となっています。

建築するのは、付近の景観に合うよう神社風に設計された竜門のバス待合所(木造平屋建て鉄板瓦葺延べ床面積3平米)。子どもたちは、地元大工の小野金一郎さん(竜門)を棟梁(とうりょう)に、月2回のペースで建築にあたることになっており、棟上げ(8月28日実施)といった儀式も本式どおり。完成の際には、建築にあたった子どもたちの名前が刻まれた棟木札も天井裏にはることになっています。

入門式には関係者など約50人が集まり、子どもたちにハッピー、タオル、図面が渡された後、神主を呼んでの地鎮祭が行われました。子どもたちにとってはこれも初めての経験。さっそく、拝礼の角度などの指導を受けていました。

メーカー住宅に押されるなどして、玖珠郡内での在来工法による家は年々減少しているようです。それだけに子どもたちにかける期待は大きく、建築関係の地元組合から資材や塗料の提供を受けたほか、森林試験場や間伐作業の見学も盛り込みたいと関係者。

「木材は生きているということを感じながら、地元木材を使った建築の良さ、作る楽しさを味わってほしいです。願わくは、この中から将来の大工さんが生まれるとうれしいですね(笑)」

バス待合所は秋に完成。

地元土木建築業者10社がボランティアで参加した野上中学校運動場の改修工事が8月下旬に行われました。

工事では、2008年の大分県体に向け九重活きいきランド内多目的グラウンドで進んでいる人工芝化の工事の際にいらなくなった表土(真砂土)を再利用。野上中運動場は雨降り後いつまでも水溜りが残り一部泥沼化したり、草が生えっぱなしになったりと水はけが悪かったことから配水管2本敷設の工事も合わせて実施しました。

この工事は、4トントラック100台分(約300トン)の土をどのようにして運動場に広げればよいか、学校とPTAが地元業者に相談したことがきっかけで持ち上がりました。最初は土を広げるだけの工事を想定していた学校関係者に「せつかくなら、本格的な工事をしては」と業者。水はけを良くするため高低差30センチの傾斜をつけることや配水管工事などを提案した上で、それらを地元業者が集まり、ボランティアであることを申し出。さらに野球のマウンドや走り幅跳びなどで用いる砂場も作ることになり、学校関係者は喜びの表情で、「ただ、ただ、ありがたい。夏休み明けの生徒たちの驚く顔が楽しみ。生徒たちにも今回の取り組みをきちんと説明し、管理もしっかりしていきます」。

集中的に工事が行われた8月19、20日では、10業者がそれぞれトラックやパワーショベルといった工事機材を持ち寄り、2日間で延べ約30人が参加。20日には同校PTAも加わり、周辺の除草作業などを行いました。PTA会長の武石俊八さんは「本当にありがたい、のひと言です。伸び伸びとここで運動できるのがうれしい。大事に使っていきます」。一方、工事する側の一人は笑顔で「業者が集まってこういった活動をするのは初めてですが、地域に還元できてうれしいし、当然のことと思っています」。

もし、この工事をお金に換算するとしたら……。そのことはひとまず抜きにして、業者のみなさんの心意気がうれしいこの取り組み。とにかく拍手です。



共助

その心意気に拍手

地域参加で改修された野上中運動場



共助



少子高齢化。その影響はいろいろなところに現れています。毎年各地区で行われる地区体もそのひとつ。チーム編成ができなくなってしまうケースが続出しているようです。一方で地域住民が一同に集う貴重な機会をどうにかして存続させたいと試行錯誤も続いています。

「第1回東飯田夏祭り」が8月20日に東飯田中学校グラウンドで行われました。同地区では8月下旬に地区体の球技種目と並行して、地区体陸上競技と位置づけ3年前まで運動会を実施。しかし、リレー種目などを中心に選手が集まらない事態が出てきたため、より多くの方が気軽に参加しやすいものにしていこうと34回続いた運動会を切り替え、再スタートを切る形で始めたのが今回の夏祭り。

東飯田体育協会が中心となり総勢50人の実行委員会を結成し呼びかけたところ、地区内を6ブロックに分け参加した住民をはじめ八鹿酒造、新成建設といった地元企業や青少年健全育成協議会、PTAなど15団体も集結。約400人が参加しました。

祭りのサブタイトル「そんなり、よっちょくれ」どおり、パン食い競争や玉入れ、〇×クイズなど「そんなり」に参加できる軽スポーツが主体。また、下旦祇園囃子や仮装行列、日程が合わず参加できなかったものの計画段階では地元消防団のポンプ車操法披露も種目に組み込まれるなど、地域総参加の気運の高い催し物となっていました。

開会行事で実行委員長の梅木征治さんは「今後も高齢化が進んでいくので、地域の力が重要になってくる。一堂に集う機会を守り、住民の融和を図りながら地域活性化をしていきたい」とあいさつ。「勝敗にこだわらないので、参加しやすくして良い。今後もこういった形で続けてほしい」と参加者の評判も上々で、実行委員会では、近いうちに総括会議を開き今後の方針を決定。「住民がより多く参加するよう機運を盛り上げていきたい」と話していました。

地域活性化に向け再出発

東飯田夏祭り



ぼくの気持ちを

メロディーに乗せて

城みちるさん 浜和を訪問

援を受けて、感動で胸がいっぱいになりました。帰り際も今日は本当にありがとう。城さんの歌を聞いて長生きしてよかったですと言われたんです。こんなに喜んでもらえるのなら、いろんな人を訪ねてみたいと思います」

歌をプレゼントするはずが、反対に励まされることもしばしば。目標は500カ所の訪問。来年11月には50歳。ライブワークにしたいと話します。

浜和でのコンサートは、入所者やデイケア利用者約120人が待つ中、黒のステージ衣装に身を包んだ城さんが登場。「見上げてごらん夜の星を」で始まり、「ふるさと」や「翼をください」、そしてもちろん「イルカに乗った少年」(当時のままの振り付き!)など6曲を歌いました。

城さんがアイドルとして活躍したのが約30年前で、入所者にも意外と知名度は高い様子。ある女性入所者に聞いてみました。「ええ、知っていますよ。ところで、あんな歌手?」

「イルカに乗った少年」もこんなに大人になりました。ちょっとだけでも、思い出になる時間を一緒に過ごしましょう。

1970年代の「イルカに乗った少年」ヒットで知られる、元アイドル城みちるさんが8月11日にケアポート浜和を訪問。ボランティアコンサートをしました。

1ムや福祉施設などをボランティアで回る活動を始め、浜和は142カ所目。

「広島の友人から老人ホームへの訪問コンサートの誘いを受けたのが、この活動のきっかけでした」と城さん。

多くのステージをこなしてきた城さんもお年寄りの前では歌ったことがなく、喜んでもらえるのか不安だったと振り返ります。

「ところが、いざ訪問してみると、歌手生活で味わったことのないような、大きな拍手と声



HELLO! ALT

こんにちは 友だちになりましょう

パチエコ・セバスチャン さん



「英語を習ったら、たくさん友だちが世界中にできますよ。私も日本語が上手になりたいと思っているので、一緒に勉強しましょう」

児童・生徒に、生きた英語に接する機会を提供し、英語教育の充実と国際理解の推進を図るため設置されるALT (外国語指導助手)。新しいALTにパチエコ・セバスチャン (Pacheco Sebastian) さんが就任。2学期から各学校に派遣されます (任期は3年)。

パチエコさんはアメリカ・コロラド州・デンバー出身の29歳。アメリカの大学ではクラシック音楽を専攻。特にギターがうまいとの評判で、早くも周囲からミニコンサートのリクエストが。(みなさんも聞いてみたいですね。よろしく、パチエコ!)

日本語は副専攻で3年間勉強。時おり電子辞書のお世話になりますが、ほぼコミュニケーションは取れます。大学では、日本文化にもふれ、「アメリカと日本の文化の違いにとっても興味を覚えました」とパチエコさん。またレスリングやボクシングもするそうで、「柔道や空手などの武道もやってみたい」。

今回が初来日。九重町は「きれいなところで、人もとてもフレンドリー」と住み心地がよく、大変気に入っている様子。こちらへ引っ越してきてすぐに「飯田高原ナイトハイク」にも参加(13ページ)。いきなりのきつい(?)洗礼を受けましたが、「人が多くて、楽しかったよ。飯田高原はすごい」と話していました。

GOODBYE! ALT

さようなら
また会いましょう

アダム・マホート さん



「九重の人はとても温かく、いつも歓迎してくれたのがよくわかった。また帰ってきたいです」

2004年9月以来、ALTとして活躍してきたアダム・マホートさんが任期切れとなり、8月で帰国しました。来日当初は日本語が話せなかったアダムさんも、今では大変流暢に。以前から親しんでいた陶芸の腕をさらに上げただけでなく、習字の授業にも参加。より日本びいきになったようです。

アダムさんはいったん帰国後、秋に再来日。「もっと日本語を上達したい」と三重県の大学で勉強をします。



「ピンポン玉を投げあうように、心と心が通い合うのが手紙の魅力。自分をなくさめ、人をなくさめることもできます。そんな手紙の魅力を中心に一冊にまとめました」

麻生二三子さん(上旦)の3冊目となる自費出版本「続々半駝(はんた)山房日記」が完成しました。

1冊目の「半駝山房日記」を出したのが16年前。その8年後に2冊目、そして「これまでの集大成」とする今回は、さまざまな人と交わした手紙のことや人物往来記、旅行記、わが家のビッグニュース、おしゃれ観など、盛りだくさんの463ページ。

それでも、「材料が多すぎて、書きたいことがいっぱいありすぎて、絞り込むのに一番苦労しました」と麻生さん。「本を書くということは頭の整理もできるし、みなさんに読んでいただいて批評を受けるのも楽しいですね」。

今回の出版は、「宝物」としてたくさん手元に残った手紙類を一冊に収めて、いただいた人へのお礼代わりにするのも目的。とは言っても膨大な量となっているので、2001年からのものを中心に。その中のひとつ、現在でも続いている中学生との手紙のページをみると、話題は学校のことや買物のことなど、日常的なものが中心ですが、読みすすめるうちに、お互いの心の交流がほんわかと伝わり、こちらまで温かくなってきます。このほかに小学5年生とのやり取りも掲載。

「こんな若い人たちとの出会いが生まれ、物語が編み出されていく手紙は本当に宝物です。今の子は塾通いとかで忙しいのかもしれませんが、こうやって手紙を書いたり、読んだりすることって、とっても大事なことと思うんですよ。私はもう体力的に無理ですけど、ぜひ、子どもたちに手紙の楽しさを味わえるような機会を作ってあげたらいいのになって思います」

現在、定期的到手紙をやり取りするのは4人。不定期な人は数多く。1日に2通は手紙を書きます。

「本を書いた後も、たくさんたまっちゃいましたね」と笑顔の麻生さん。このペースで、8年後の「半駝山房日記ふたたび」(すいません、こちらで勝手に名前をつけました)もぜひ、といきたいですね。

麻生さんは83歳の現在も良い映画を見る会(代表)や中国語教室(講師)、俳句会(会員)、読書会(世話人)とさまざまな活動しており、そのバイタリティには、ただ頭が下がるばかり。このような豊富な活動から生まれた「人物往来記」も、この本の魅力。

「続々半駝山房日記」は九重町図書館においてあります。

麻生二三子さん



手紙の魅力を一冊に

9月のハート降る ♥ JIJINE

お泊り会での「ハ」

東飯田地区には、人権キッククラブという子ども会活動を行う組織があります。

私はその会のメンバーです。人権キッククラブは毎月第四土曜日を基本に2時間程度の活動を展開しています。子どもたちが仲良くなるためのレク活動や創作活動などが主な内容です。

8月の人権キッククラブは子どもたちが楽しみにしているお泊り会でした。東飯田小学校において1年生から6年生までが自由に参加し、一泊二日の校内キャンプを行います。スタッフとして東飯田中学校の生徒も加わり活動を支えてくれます。当日は魚のつかみ取りあり、火起こし体験あり、飯ごう炊きさんあり、肝試しありとわくわく、ときどき、はらはらの活動がいっぱいあります。

共通体験での共通感動は仲間同士の結びつきをより強くしてくれます。そのような意味においてもこの人権キッククラブのお泊り会はとても意義のあるものだと考えています。さて、このお泊り会で次のようなほほえましい光景に出会えたので、ハート降るのハに投稿します。

夜の肝試しのことでした。1年生のSちゃんは肝試しが始まると同じ班の6年生のMさんにおんぶされ移動していました。時折飛び出してくるお化け(スタッフ)に驚き、泣きながらMさんにしがみついていた。Mさんは「だいじょうぶ、こわくないよ」と声をかけながら、ゴールを目指していました。肝試し終了後、Mさんと回ったSちゃんは活動に参加したことで満足していました。「肝試しどうだった?」とSちゃんに聞くと、「Mちゃんがいたから怖くなかったよ」とニコリ。Mさんの背の上でやさしさを十分感じた一晩だったことでしょう。肝試しが終わった後はみんなので就寝で



町内で医院を開業している井上通泰さん（南恵良）が自費出版本「医者をやぶにらみ」を発行しました。

「反響の大きさは想像してなかったことだったので、びっくりしているし、とてもうれしいです。さっそく感想もいくつかいただいていますよ」

ある地方紙での紹介をきっかけに問い合わせが殺到。取材のときも発送作業に追われていると笑顔で話していました。

井上さんが祖父の医業を継いで開業したのが昭和42（1967）年。以来、内科を本業としながらも、自らをあえて「何でも屋」と呼び、地域医療の現場で多種多様なケースにあたってきました。

「昔から書くことが好きで、40代ぐらいから、こういったエッセイ風の記事を書くようになりました。医師会の会報紙や新聞などに投稿した中から、手元に残っているのをまとめたのがこの本です」

全185ページで、心電図の波形をモチーフに表紙をデザイン。タイトルになった「やぶにらみ」とは物事を真正面から見ると少し斜めから見たほうが立体的に見えて真の姿がわかるという意味。

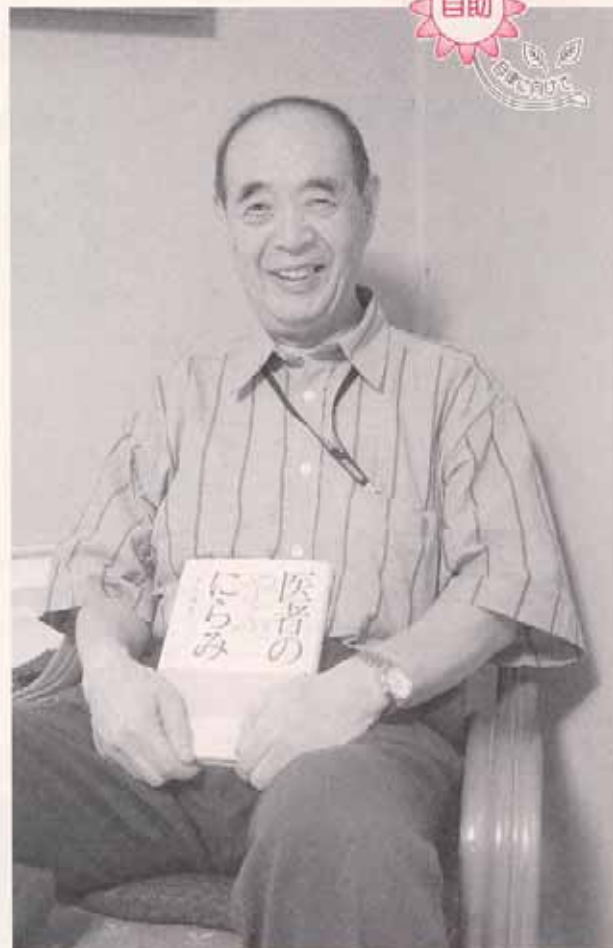
旅行や家族など身の回りのことも出てきますが、一番多くのページが割かれているのは医療をめぐる問題。「終末医療」、「安楽死」、「団塊の世代」、「小児科を増やす方法」「少子化」などをキーワードに、40年間にわたり地域医療を見続けた井上さんならではの深い洞察が随所に見られます。その中でも医療保険制度に対する眼光是特に鋭く、「崩壊の危機さえはらんだ大きな曲がり角に来ており、とりわけ高齢者をめぐっては深刻」と分析。

「医療費が膨れ上がったことから、在宅重視の医療改革が進められていますが、すでに家庭には受け入れる力がなくなっています。在宅に戻っても、そこにあるのは高齢者いじめと家庭受難。そんな時が刻々と迫っているのは明らかです」

ただ、その制度改革に流されてきた医師側にも問題があったと指摘。

「もともと医療というのは、お金に縁のない思いやりをもってする仁術（じんじゅつ）でした。それが次々に改正される医療制度に従うにつれ、好むと好まざるとに関わらず算術に変わっていきました。今や医師と患者の間に義理も人情もなくなった。私も算術の恩恵を受けた一人だし、親父たちがしてきた仁術を十分承知しているだけに、内心忤怩（じくじ）たるものがあります」

果たして医療改革は正しい方向に向いているのか。「ことん、と逝くまで書き続けたい」と話す井上さんの「やぶにらみ」の分析はこれからも続きそうです。



井上 通泰さん



医療の今昔を 一冊に

「医者をやぶにらみ」に関する問い合わせは井上通泰さん（☎76-2466）まで。九重町・図書館にもあります。

す。仲間と同じくこの世に暮らすということと
 自体、楽しくてたまらないものです。た
 だ、1年生にとっては経験が少なく不安
 はつきりものです。両親を惹きつける子とも
 も出てきます。1年生のRちゃんもそん
 な一人でした。蒸し暑い部屋の中でRち
 ちゃんとお話をした6年生の1君は、R
 ちゃんの寂しさをまぎらわせるような会
 話を続けてあげました。Rちゃんがつ
 うとしてくると、うちわで扇ぎ続けてい
 るのです。そのうちRちゃんは眠りにつ
 きました。1君はRちゃんのことを気
 にしながら涙い寝を続けました。

6年生には「1年生にこうしてあげな
 さい」と話していません。さりげない
 年下へのやさしさが見られました。その
 ことをスタッフ同士（大人）で反省会の
 時に話し合いました。「子どもたちのや
 さしさは大人が思っているよりも素直な
 出方を示すものだ。そして、子どもたち
 同士で育ちあっている気がする」とそんな
 ことをMさん1君から感じました。きつ
 と、Mさん、1君のやさしさをRちゃん
 Rちゃんが受け継いでいくんだらうな
 と思います。

お泊り会も4年目を迎え、すっかり定
 着しました。こんな子どもたちの姿が見
 られるから、私たちもボランティア活動
 が続けていけるのでしょう。来年がまた
 楽しみです。

伝えたい「ちょっといい話」「心あ
 たたまる話」をぜひお寄せください。
 町内各所に投稿用のボックスを設置
 していますので、そこに投稿するか、
 「ハート降るここのえ」メンバーへこ
 連絡ください。

連絡先 佐藤明郎（☎76-12526）
 郵便の場合は次のところへ。

〒879-14895

九重町役場企画調整課

広報情報化グループ

知って安心 誰もががかかるうつ病

保健

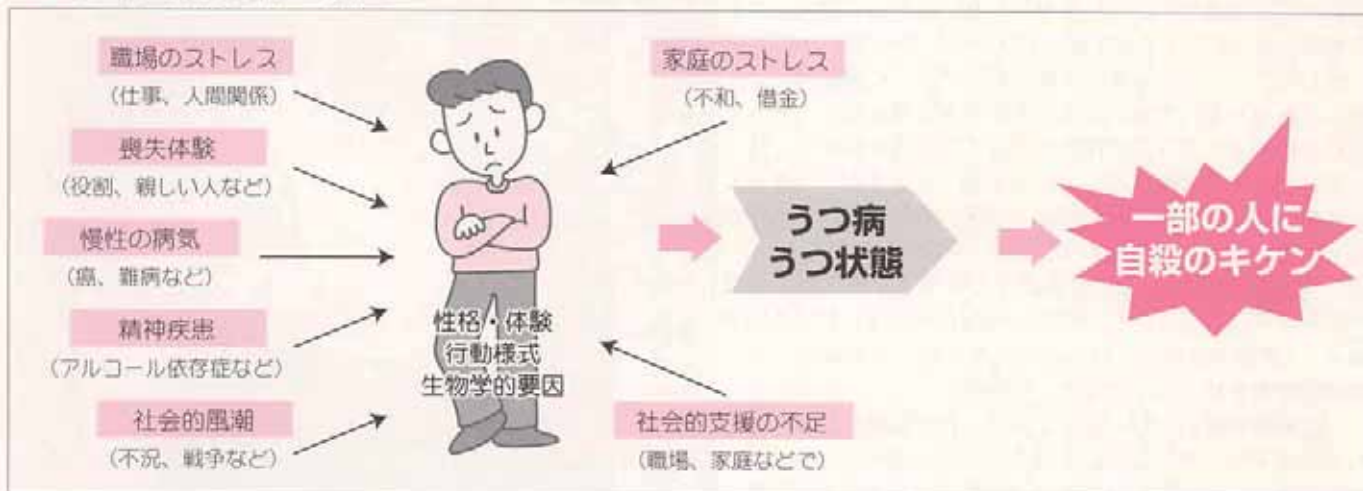
日本では、生涯に約15人に1人、過去12カ月間には約50人に1人がうつ病を経験しています。

○ どうして起こるの？

「几帳面で真面目、責任感が強い」、これは日本人に共通した特徴ですが、これらが人並み以上に強い場合や考え方に柔軟性が乏しく、開き直りや決断ができない人はストレスを受けやすく、結果としてうつ病になりやすいと言えます。図のように様々な生活体験（ストレス）をきっかけに、それだけではなく、個人の性格や行動様式が相互に関係して、一部の人がうつ病になります。悪化すると自殺の危険も出てきます。



■ うつ病に関係した様々な要因



○ うつ病を疑うサインとは

■ 自分が気づく変化

- 悲しい、憂うつな気分、沈んだ気分
- 何事にも興味がわかず、楽しくない
- 疲れやすく、元気がない (だるい)
- 寝つきが悪くて、朝早く目がさめる
- 気力、意欲、集中力の低下を自覚する (おっくう)
- 食欲がなくなる ● 人に会いたくなくなる
- 夕方より朝の方が気分、体調が悪い
- 心配ごとが頭から離れず、考えが堂々めぐりする
- 失敗や悲しみ、失望から立ち直れない
- 自分を責め、自分は価値がないと感じる

■ 周囲が気づく変化

- 以前と比べて表情が暗く、元気がない
- 体調不良の訴え (身体の痛みや倦怠感) が多くなる
- 仕事や家事の能率が低下、ミスが増える
- 周囲との交流を避けるようになる
- 遅刻、早退、欠勤 (欠席) が増加する
- 趣味やスポーツ、外出をしなくなる
- 飲酒量が増える



うつ病は心の風邪と言われるように誰もがかかりうる病気です。放置すれば悪化しますが、早期発見し対処すれば早く回復します。休養と場合によっては服薬が必要です。周囲の人は本人に「がんばれ」など励ましの言葉は厳禁です。まずは医療機関 (精神科、心療内科、かかりつけ医) や右の相談窓口相談するよう勧めましょう (誰かが一緒に行ってあげましょう)。

■ 心の健康についてお気軽にご相談ください

相談機関	電話
九重町保健センター	76-3838
日田玖珠県民保健福祉センター玖珠保健支所	72-1150
大分県精神保健福祉センター	097-541-6290
こころの電話	097-541-0878

9月は健康増進普及月間です

健康標語 ⇒ 「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ ~良い生活習慣は、気持ちがいい! ~



献血についてのお知らせ

近年、献血人口の減少により、年間を通じて輸血用血液を安定的に確保することが大変厳しい状況にあります。九重ライオンズクラブのご協力をいただき献血を実施しますので、多くの方々のご協力をお願いします。

日時: 2006年10月25日 (水) 10:00~16:00

場所: 九重町役場 (玄関フロア)

問い合わせ: 保健センター ☎ 76-3838

図書館だより



図書館開館時間
 平日 10:00~18:00
 土・日 9:00~17:00
 月・祝 休み

★「今年の秋は長い・・・?」★

これは気象庁の予報ではなく1冊の本(*1) いえ古くからあるこよみ=旧暦の予測です。今年は旧暦7月(旧暦では初秋にあたる)が閏月でもうひと月続く→秋の残暑が足みみ→冬の訪れも遅くなると。

いったんは廃れた旧暦ですが農事暦・生活暦としても見直されています。詳しくはご一読を。新しい発見がきっとあると思います。

さて、そんなこんなで虫の声も表情豊かに響きわたっております。〇〇の秋ですわね。今回の〇〇は「食」に注目です。今や、「食」は老若男女に共通のキーワード。健康やダイエットのみならず、しつけや家庭のあり方、社会・環境問題にも広がっています。栄養の偏りや添加物の過剰摂取も問題ですが、『食品の裏側/安部司著』で著者が訴えるように「食」を軽く見た代償が表れている気がします。食べ物のありがみがわからない人は、命のありがたみもわからない。人の命の重さもわからない。うーん、深いぞ。約1年前に出版され、今もベストセラーを続けている本です。続きましては「世界一受けたい授業(日本テレビ)」にも登場した『噛めば体が強くなる/西岡一著』。唾液がガンの原因となる活性酸素を消す!よく噛むことが添加物の影響を減少させ、ダイエットや認知症にも効果があることを科学的に説いた本です。この他にも「食」を考える本はたくさんあります。書名だけですが一部を参考までに・・・。どれも食べ物=命を丁寧に扱った本です。どうぞ。

- 『いのちの食卓/辰巳芳子著』
- 『毒消し料理術/大森隆史著』
- 『楽しく食育/砂田登志子著』
- 『マクロビオティック式養生生活』
- 『食べものさん、ありがとう1~3/川島四郎著』
- 『ファストフードと狂牛病/シュローサー著』
- 『台所育児一歳から包丁を/坂本廣子著』
- 『検証!日本の食卓/産経新聞社会部』
- 『いのちの食べかた/森達也著』
- 『食卓の向こう側1~8/西日本新聞』
- 『台所に立つ子どもたち/竹下和男著』
- 『おとなの食育Q&A/若村育子著』
- 『フードクライシス 食が危ない!/金丸弘美著』
- 『食べ方問答一少食のすすめ/甲田光雄×サンブラザ中野著』

*1 『旧暦と暮らす』『続々と、旧暦と暮らす』共に松村賢治著

お知らせ

リサイクルします!

10月16日(月)~10月29日(日)の期間、文化センターのロビーにて図書館の雑誌・重複本などの無料配布をいたします。

雑誌は、オレンジページ、安心、現代農業、栄養と料理、すてきな奥さん、LEEなどの3年より前のバックナンバーになります。お持ち帰り用の袋をご用意してお越しください。

●新着本 続々● 夏の疲れがでる頃ですね、ゆっくりと読書はいかがですか?

《児童書・コミック》

青年海外協力隊員になるには
 自動車整備士になるには
 そらまめくんのほくのいちにち
 あじのひらき
 男子のための恋愛検定

もろしのぶ編著
 広田民郎
 なかやみわ
 井上洋介
 伏見憲明

《一般書》

NHKためしてガッテン 選りすぐりOXクイズ
 爆笑問題の戦争論
 ロハス・シティの夜明け
 減びゆく国家 -日本はどこへ向かうのか-
 新顔野菜の天然レシピ
 知識ゼロからの絵手紙入門
 介護予防と転倒防止のための楽しいレクゲーム45
 鏡の法則
 リフォームの本 1・2
 Dr. 金田一&柴田理恵のことは診療所
 倉敷・尾道・瀬戸内海 タビリエ29
 「血液型」の世界地図
 甲野篤紀の暮らしのなかの古武術活用法
 典子44歳いま、伝えたい「典子、今」あれから25年 白井のリ子

北折一
 爆笑問題
 稲本正
 立花隆
 chef's V
 清水国明
 今井弘雄
 野口嘉則
 オレンジページ
 金田一秀穂
 能見俊賢
 日本放送協会編

人づきあいの小迷惑相談室 1
 見てわかる! 図解経皮毒
 水戸黄門は旅嫌いだった!?
 ざらざら
 危うし! 小学校英語
 もったいない事典 50音エコ川柳で今日から環境にやさしい生活

山下玲夜
 楠木誠一郎
 川上弘美
 鳥飼玖美子

毎日が楽しくなる色の取り扱い説明書
 笑って元気 続
 保育園と幼稚園がいっしょになるとき
 苦難の乗り越え方
 噛めば体が強くなる
 天国からのラブレター
 中高年のためのパソコン講座ブログに挑戦してみよう! 日本放送協会編
 百姓赤峰勝人の野菜ごはん
 会社、仕事、人間関係がもうイヤだ!と思ったときに読む本

赤星たみこ
 宮内博実
 矢野大和
 近藤幹生
 江原啓之
 西岡一
 本村洋

世界にはばたく男の子(女の子)の名前
 デジタル一眼レフ撮影術入門
 大分の花と紅葉
 早わかり日本史スーパービジュアル版
 不信のとき 上・下(文庫)

斎藤茂太
 田宮規雄
 日本放送協会編
 河合敦
 有吉佐和子

第15回

「九重の自然を 描く絵画展」 作品募集

応募資格は18歳以上の社会人。九重町の風景を描いたもので、20号までの平面作品。一人一点に限る。作品搬入は10月8日(日)13:00~15:00 応募用紙の記入や出品手数料(700円)が必要になります。詳細は生涯学習課(☎76-3823) 絵画展の会期は10月15日(日)~22日(日)九重文化センター体育館にて。時間は9:00~17:00(最終日は15:00まで)

乳幼児医療費助成制度が改正されます (10月より)



1. 対象年齢が拡大されます。

現在	改正後
3歳未満児の入院・通院 未就学児の入院	未就学児の入院・通院

対象年齢拡大分についても、現物給付方式により助成します。

2. 入院時食事療養費助成が廃止されます。

3. 自己負担をお願いすることになりました。

現在	改正後
なし	入院、通院とも 1医療機関ごと1日500円 (月あたり上限：入院14日、通院4回) (薬局については自己負担なし)

4. 経過措置

* 3歳未満児の通院については、平成18年10月～平成19年9月末までの1年間は、一部自己負担額の上限回数を月2回とします。

* 改正後の規定は平成18年10月1日以後に受けた保険給付に係わる助成について適用し、同日前に受けた保険給付に係わる助成は従前の例によります。

5. その他

※ 1医療機関で1ヵ月間の一部負担金額が80,100円(自己負担分を含む)を越える場合は、80,100円を超えた額についても医療機関窓口で支払ってください。

※ この制度は県内の医療機関のみで有効です。

問い合わせ ふれあい生活課 国保年金グループ ☎76-3802

“くらしの安心”のお手伝いをします。



くらしの安心相談員

くらしの安心相談員は地域で消費者に対する情報提供や啓発活動などを行うほかに消費生活に関する相談業務などを行います。九重町では次の4人が大分県から委嘱を受け、活動しています。



写真左から

志賀 文子 さん (中村上) ☎79-2948

佐藤 陽子 さん (中央) ☎77-6956

森 敦子 さん (下旦) ☎76-2271

吉光 芳枝 さん (桐木4) ☎78-8402

くらしの安心相談員に関するお問い合わせは
商工観光課 (☎76-3150) まで



秋の行政相談週間 (10月16日～22日)

毎日の暮らしの中で、年金や道路など国などの仕事について、分からないことや困ったことはありませんか。

行政相談委員は、そういったことの身近な相談相手です。相談は無料。相談内容などの秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。

九重町の行政相談委員



甲斐 素純 さん
(☎76-3254)



10月は心配ごと相談と合同で開設します。

- 10月10日(火)午前9:00～12:00 飯田公民館
- 10月24日(火)午前9:00～12:00 南山田公民館

110 交通安全

交通安全キャラバン隊が来町

母親の交通安全に対する意識の高揚などを目的に設置された「全国交通安全母の会連合会」会員が内閣府の委嘱を受けキャラバン隊を編成。毎年、「みんなですすめる交通安全」をスローガンに各市町村を巡回し、「交通安全対策の一層の推進」を訴えています。

同キャラバン隊4人が8月22日に九重町を訪問。町内の交通安全関係者約100人が見守る中、猪口邦子内閣府特命担当大臣の「住民の交通安全意識の高揚と、住民と一体となった交通安全対策の推進」を訴えるメッセージを佐藤教育長に手渡しました。

キャラバン隊は、8月21日から3日間、大分県内を7コースに分かれ各市町村を訪問。その後は宮崎県内を巡回しました。



平成18年町内地区別事故発生状況(累計、属地)

地区別	人身事故		物損事故	件数計
	死者	負傷者		
東飯田	0	5	3	28
野上	0	16	7	40
飯田	0	24	10	87
南山田	0	21	15	59
計	0	66	35	214

(2006年8月末現在)

恩給欠格者、引揚者のみなさまへ

いわゆる恩給欠格者の方々、または引揚者の方々に内閣総理大臣名の書状等を贈呈しています。

請求書類はふれあい生活課（☎ 76-3802）の窓口においてあります。

資格要件などのお問い合わせは、独立行政法人・平和祈念事業特別基金（フリーダイヤル 0120-234-933）まで。http://www.heiwa.go.jp

平成18年度第2回訪問看護研修 ステップ1の開催について

在宅療養者の訪問看護に従事する看護職員の講習会を行います。

対象者 保健師・助産師・看護師・准看護師の有資格者で原則として5年以上の臨床看護経験者

日時 平成18年11月7日(火)～平成19年1月25日(木) 週のうち3日間（原則として火・水・木）の合計30日間 9:30～16:30

場所 大分県看護研修センター（大分市寿町2-6）

経費 受講料は無料。ただし資料代（10,000円）や実習等の交通費は自己負担。

問い合わせ・申込先

大分県ナースセンター ☎ 097-534-8118

申し込みは平成18年10月5日(木)まで

畜産研修生募集

募集対象 将来、畜産経営を志す、新規学卒者もしくは社会人経験者等。性別不問。5人募集。

研修期間 平成19年4月から翌年3月まで

（個室の全寮制）

研修内容 畜産経営に必要な知識・技術を実践しながら習得します。

研修費用 宿泊費不要。食費等一部自己負担あり。

願書受付期間 11月30日まで

問い合わせ先

大分県畜産研修センター（☎ 0974-76-1214）または役場農林課（☎ 76-3804）

大分大学福祉フォーラム

「認知症の正しい理解と生活支援」俳句募集

11月29日に音の泉ホール（大分市）で開催される上記フォーラムで認知症の方々の俳句選集を作成します。匿名希望の方はその旨お知らせください。応募者多数の場合は選考の可能性あり。

氏名（俳号）、住所、年齢、性別を明記の上、ハガキでお送りください（10月31日締切）。

〒870-1192 大分市旦野原700

大分大学福祉科学研究センター ☎ 097-554-7450

平成18年度身体障がい者を対象とした 大分県職員採用選考

選考内容 一般事務を1人

受験資格

- ①身体障害者手帳所持者。県内在住者（在学等のため一時県外に居住している人も含む）。日本国籍のない人も受験できます（条件あり）。
- ②自力通勤の可能な人。介護者なしに職務の出来る人。
- ③昭和52年4月2日から平成元年4月1日に生まれた人
- ④活字印刷文による出題に対応できる人

第1次選考 平成18年11月5日（日）

受付期間 平成18年9月29日（金）～10月18日（水）

選考案内は各市町村・県振興局・社会福祉協議会などで配布します。

お問い合わせは、大分県人事委員会

（☎ 097-536-1111 内線5200・5212）

青年海外協力隊・シニア海外ボランティア・ 日系社会シニア・青年ボランティア募集

	青年海外協力隊	シニア海外ボランティア	日系社会シニアボランティア
募集期間	10月1日(日)～11月10日(金)		
応募資格	20～39歳	40～69歳	
派遣期間	2年間	1年間または2年間	2年間
募集説明会	10月15日(金) 大分県コンパルホール(15日) オアシスひろば(30日)	10月24日 オアシスひろば21	

「日系社会青年ボランティア」募集もあります（募集期間等は青年海外協力隊と同じ）。

問い合わせ先

JICAデスク大分 ☎097-533-4021

JICAホームページ <http://www.jica.go.jp>

「ここのえの介護を語る会」会員募集

九重町では、「第3期介護保険事業計画」にのっとり、町民の意見を十分に反映しながら計画の達成状況の評価したり、今後の本町の介護について調査・研究を行ったるために「ここのえの介護を語る会」を設置しています。

会員は20人以内で一般公募、有識者、介護サービス・福祉関係者等で組織します。18年度（任期3年）の一般公募での会員を募集します。募集期限9月27日（水）まで。

詳しくは、ふれあい生活課介護支援グループ（☎ 76-3802）までお問い合わせください。

大分県職員(職業訓練指導員)採用選考

職種 機械系（メカトロニクス）

受付期間 10月6日(金)まで（第1次試験は10月15日）

問い合わせ 大分県人事課

☎ 097-536-1111 内線2304

大分県奨学会大学奨学生(2次募集)

出願資格は、県内に住所を有する人の子弟で、平成18年4月に大学及び短期大学に入学した人。貸与期間は平成18年10月から最短修業期間とします。貸与額(月額・大学の場合)は32,000円~43,000円です。出願期間は10月31日(火)まで。詳細はお問い合わせください。

(財)大分県奨学会 ☎097-536-1111 内線5621

OA研修室無料開放

アイネスでは、県民のみなさんに広くパソコン学習の機会を提供するため、パソコン20台を完備したOA研修室を無料で開放しています。

期 間 平成19年3月まで

日 時 毎月第2、第4木曜日13:00~17:00

場 所 大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)2F(大分市東春日町1丁目・オアシスひろば21の近くです)

事前に電話(097-534-4034)でお名前とご利用時間帯をお知らせください。空きがあれば当日受付もできます。インターネット、ワープロ、表計算を自主的に学習していただけます。

退職金づくりは「中退共」で

しっかりした退職金制度を持つことは、優秀な人材の確保や従業員の労働意欲を高めるためにも重要なことです。中退協制度(中小企業退職金共済制度。掛金の一部を国が助成)に加入して従業員の退職金を準備しましょう。制度についてのお問い合わせは中退共福岡相談コーナー(☎092-631-2551)まで

日田玖珠地域巡回特別労働相談

労働問題全般に関すること。中小企業の労働者及び使用者対象。相談無料。秘密厳守。

平成18年10月19日(木) 13:30~16:30
 大分県日田総合庁舎4階(日田市城町1丁目)

電話での相談にも応じます(☎0120-601540)
 *携帯、公衆電話の場合は0973-23-2673

大分県政について話そう!~県政出前講座

県では、県民のみなさんの会合(おおむね20人以上)に、県の幹部職員が出向いて、県の重要テーマ等の説明と意見交換を行う「県政出前講座」を実施しています。

なお、この講座は、苦情・要望等をお聞きするものではありません。また、政治・宗教・営利等を目的とした催しなど、「県政出前講座」の目的に反すると判断される場合は、講座をお断りすることがあります。

詳しくは、大分県企画振興部広報広聴課(☎097-532-3200)までお問い合わせください。

貸金業に関する苦情や相談を 随時受け付けています。 お気軽に電話、来訪ください。

☎097-534-9055 相談は無料です。

*当協会は、金融庁、大分県の指導監督のもとに運営されている公的機関です。

業務時間 平日の月曜から金曜の9:00~17:00(土・日・祝・年末年始は休み)

(社)大分県貸金業協会(大分市府内町2丁目)

公益通報者保護法施行

労働者が事業所内部の法令違反行為等を事業者や権限を有する行政機関、その他事業所外部に公益通報を行った場合に、事業者による解雇等の不利益な処分から労働者を保護するものです。

大分県では、受付・相談のための総合窓口を、県民生活・男女共同参画課に設置しました。詳しくは県庁ホームページをご覧ください。

公益通報専用電話 097-536-1807

土地・建物の表示登記についての無料相談

日 時 平成18年10月14日(土)10:00~15:00

場 所 日田市中央公民館

問い合わせ

大分県土地家屋調査士会 ☎0973-23-7278

全国一斉司法書士法律相談(登記・供託・訴訟等)

相談は無料です。

日 時 平成18年10月14日(土)10:00~15:00

場 所 玖珠公民館(玖珠町塚脇)

問い合わせ 大分県司法書士会(☎097-532-7579)

または最寄りの司法書士事務所へ

あなたの財産づくり、財形貯蓄から始めよう

財形制度は勤労者の貯蓄や持ち家取得といった計画的な財産づくりを国や事業主が援助・協力しようとする制度です。

詳しくは、独立行政法人 雇用・能力開発機構大分センターまで(☎097-522-2178)

10月は「年齢にかかわらず募集・採用促進月間」です

雇用対策法で、労働者の募集及び採用について、その年齢にかかわらず均等な機会を与えるよう努めなければならないとされています。

事業主の方々には年齢ではなく、個々の労働者の適性・能力に応じた募集・採用を行っていただくようお願いいたします。

大分労働局・ハローワーク日田 ☎0973-22-8609

9月10日から10月10日までは生活排水きれい推進月間

- 単独処理浄化槽は、トイレ以外の水も浄化する「合併処理浄化槽」に切り替えましょう。
- 水切り袋の使用、洗剤の使いすぎ防止、廃食用油の回収などを行い、家庭から出る汚れを減らしましょう。

法テラスがスタート

日本司法支援センター「法テラス」は法的トラブルを解決するための情報やサービスを受けられるよう10月から業務を開始します。

法的トラブルを解決するにはどのような方法があるのかわからない、どこに相談すればよいのかわからない、といったときは、法テラスコールセンターまでお気軽にお電話ください。

法テラスコールセンター（10月2日より使用可）

（一般相談） 0570-078374

（犯罪被害者相談） 0570-079714

問い合わせ 日本司法支援センター大分地方事務所
☎ 050-3383-5520

ご存じですか・・・公正証書

～遺言書や契約書などは公正証書にしておくことで安心です～

公証人は各種契約や遺言などに関する公正証書を作成しています。公正証書は裁判などで強力な証拠となるばかりでなく、紛失や改ざんの心配がないなど、後日の紛争を防止する上での大きな役割を果たしています。公正証書遺言により、遺産相続に伴う親族間の紛争を防止することができます。また、無料で相談に応じています。

日田公証人役場 ☎ 0973-24-6751
（日田市田島2丁目1-201 第2光ビル201）

検察審査会にご相談を！

交通事故や詐欺・傷害などの被害にあったのに、検察官が犯罪の被疑者を起訴しないので納得いかない。

このような不満をお持ちの方は検察審査会にお気軽にご相談ください。相談や審査の申立に費用は一切かからず、秘密は固く守られます。

詳しいことは
日田検察審査会事務局（大分地方裁判所日田支部内）
☎ 0973-23-3145にお問い合わせください。

心の病を考える地域学習会

日時 9月27日（水）10:00～15:00
場所 日田市中央公民館（文化センター）
内容 講話「よりよい生活のために」
講師 大分県精神保健福祉センター森永克彦さん
問い合わせは、玖珠むつみ会共同作業所（☎ 72-6306）まで

今月の 年金相談

日時 9月27日（水）10:00～15:00
場所 九重町役場1階・102会議室

悩まず、とんどこい労働相談週間

労働者と使用者との間の労働問題にかかるトラブルについて無料で相談を受けます。

相談週間 平成18年9月25日（月）～29日（金）

相談方法 （1）電話 097-536-3650
（2）来所 労働委員会相談室（県庁7階）
（3）ファックス 097-536-2566
（4）Eメール a23100@pref.oita.lg.jp

平成18年度後期技能検定試験

受付期間 9月25日（月）～10月6日（金）

実技試験問題公表 11月17日（金）

実技および学科試験の実施日は受付後に指定されます。

試験種目 1・2級（30職種45作業）

石材施工、建築大工、菓子製造、かわらぶき、鉄筋施工、配管、ガラス施工など

他に特級（17職種）、3級（8職種）、単1等級（2職種）の試験があります。

試験種目等の詳細は、

大分県職業能力開発協会 ☎ 097-542-3651まで

平成18年度第2回危険物取扱者試験

日時 平成18年11月26日（日）午前10時試験開始
試験会場 大分県立日田林工高等学校（その他会場もあり）
試験種類 甲種、乙種、丙種

願書配布は9月4日（月）から県内各消防署や（財）消防試験研究センター大分支部などで行います。

願書受付期間 10月2日（月）～10月11日（水）

願書の提出先 （財）消防試験研究センター大分支部
☎ 097-537-0427

いきいきグリーンプランDAY

苗木や花の種無料配布。ゲームなど楽しさいっぱいのイベント（参加無料）

日時 10月28日（土）午前9時～午後4時
会場 ハーモニーランド（日出町）
参加方法 専用受付で大分県在住を確認できるもの（免許証など）を提示していただければ無料で入園できます（人数制限なし）。駐車料金・アトラクション利用代は別途必要。

問い合わせ先 大分県公園・生活排水課
☎ 097-536-1111 内線4665

今月の納税

【国民健康保険税】
納期限10月2日 【町 県 民 税】（第2期）

幸せになるころね



小さな感動・大きな感動

最近、感動したことがありますか？
私は、このごろ涙腺が弱く、ちいさな感動でもすぐに涙があふれて、歳をとると涙腺が弱くなると言われますが、それなりによい歳を重ねている証拠かな？なんて一人で笑っています。

「感動」するというのは、動物にはない感情です。とても人間的な心の動きで、人間が生きていくうえで非常に大事なもので、

生きる為のエネルギー源だそうです。感動は脳を活性化し免疫力も増大。感動できない脳は、脳にブレーキをかけるため、脳が収縮し老化への道へ。「どうせ」「つまらない」「めんどうくさい」などの思いは感動できない要素。感動は人から与えてもらうものではなく、自分の中に感動する心があればどんな出来事にも感動できる。感動力とは、つねに心を磨くことによって鍛えられると言われています。同じ風景を見ても感動する人もいれば、気づかずに通りすぎる人もいます。「感動」という言葉には、「動く」という文字が入っています。心を動かす、体を動かし、感動に出会っていききたいですね。小さな感動にも、大きな感動にも。

ヒューマンフェスタ2006おおいだ

9月30日(土)～10月1日(日)
ビーコンプラザ(別府市)

*別府駅より無料シャトルバスあり

内容 各種展示、中島啓江おしゃべりコンサート、常田富士男トークショー、ハンセン病や子どもの虐待防止に関する講演会など(入場無料)

問い合わせ 大分県人権・同和对策課
(☎097-536-1111 内線3176・3177)

今月は「敬老の日」をむかえます。2015年には4人にひとり、65歳以上という本格的な高齢化社会が予測されます。豊かな長寿社会とは、高齢者が社会の重要な一員として尊重され、介護が必要な人も、ひとり暮らしの人も、元気な人も、すべての高齢者が、住み慣れた地域で健康で生きがいを持ち、安心して生き生きと生涯をおくれる社会です。高齢者の方々に教わることで、たくさんあります。社会を動かし、歴史をつくり、時代をつなげてくれたおじいちゃん、おばあちゃん、私達の財産です。生きていく限り、みんな必ず高齢者になります。高齢者の方々に尊敬と感謝の心を。私も速く離れて暮らす父に感謝を伝えたいと思います。みなさんも感謝を伝えてください。

隣保館人権啓発指導員 安藤千恵美

＝2006年9月・10月休日当番＝

病	月	日	医療機関名	住所	電話
院	9月	18日	友成(産婦人科)医院	塚 脇	72-0330
			飯田高原診療所	飯 田	79-2138
		23日	小 中 病 院	塚 脇	72-2167
		24日	高 田 病 院	春日町	72-2135
	10月	1日	武 田 医 院	森	72-0170
			矢 原 医 院	野 上	77-6121
		8日	北山田クリニック	北山田	73-2030
			長内科小児科胃腸科医院	春日町	72-2143
		9日	玖珠記念病院	塚 脇	72-1127
		15日	麻生消化器科内科医院	山 田	72-7100
	友成(町田)医院	町 田	78-8811		
22日	井 上 医 院	恵 良	76-2711		
	三池循環器科内科医院	塚 脇	72-6101		

歯	月	日	医療機関名	住所	電話
科	9月	18日	石崎歯科医院	日田市	0973-22-3041
		23日	近藤歯科	日田市	0973-24-6080
		24日	たしろ歯科医院	塚 脇	72-3838
		10月	1日	内川歯科医院	日田市
	8日	おおくら歯科医院	日田市	0973-22-0222	
	9日	玉井歯科医院	恵 良	76-2018	
	15日	武内歯科医院	日田市	0973-22-3034	
	22日	小野歯科医院	天瀬町	0973-57-2102	

獣	月	日	獣医師名	電 話
医	9月	23日	佐藤 獣医	77-6448
	10月	1日・9日・15日・29日		
	9月	30日	山本 獣医	78-9101
	10月	8日・21日・28日		
	9月	24日	甲斐 獣医	76-3324
	10月	7日・14日・22日		

★都合で変更する場合があります。

玖珠消防署：●救急は119番 ☎72-2141

●火災の確認は ☎72-5100

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎3409
休日当番の電話番号(携帯)は 090-5721-8191

歳時記

季題

10月号

「芒」

「秋(天)高し」「柿」

(9月25日締切)

11月号

「菊」「初」

「山粧ふ」

(10月25日締切)

今月の季題

「稲」「虫」
「爽やか」

噴煙の一直線や稲の花

池の面に天道虫を救ふ枝

爽やかに青年道を問ひにけり

土と稲と共に生きたる八十年

農作や稔る稲穂の重さかな

稲穂見て米なき戦後思いけり

飛んで来ててんと虫が肩に乗り

ちちちと小さく奏でし虫天使

耳遠き人に分けたし虫の声

草むらの虫の声聞き野良仕事

爽やかに朝ウォーキング声弾む

爽やかな風をうけての朝仕事

爽やかに初孫成人迎えおり

爽やかに笑顔でかわす散歩かな

穂孕みの早稲砲声に揺さ振られ

「噴煙の一直線や稲の花」
稲花の平面と噴煙の垂直線の対称を美的に捕らえている。「池の面に天道虫を救ふ枝」水面に垂れた枝が天道虫を救う。救うに心がある。「爽やかに青年道を問ひにけり」旅の一年の清しさを道を問うて表現。どの句も実相の断面をスバリ。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報グループまで応募を。なお、応募作品は返却しません。

- 清竹 勇藏
甲斐 和子
伊東 匡子
松本まち子
小野ミツノ
佐藤 元八
赤峰 幸子
玉井多喜子
井上 マキ
湯浅加代子
原田 孟一
岩尾 奈加
佐藤 修正
森高マサヨ
選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報

このえ 時間旅行

ふるさと再発見 144

地名を歩く 栗野(5)

九重町文化財調査員 甲斐素純

ヨリ式拾駄迄」とある。人や牛馬の糞以外は、原野から刈り出した草を田一反に付き十五〜二〇駄分入れて肥料にした。これは夜が白みかける早朝、牛を遠くの原野(共有地)へ引いて行き、草刈りをして持ち帰ったものであった。秣苜(まぐさ)か(り)敷場は、引治村内にある山へは「道法老里半程」の距離があり、当村内の山々も場所が決まっていた。

また、「柴薪場」は、松木村の平家山へは「道法二里程」で、また万年山裏手の山浦村の内へは、二里半程の距離があった。また、運上銀を出さなくてすむ庄屋白山四ヶ所と、百姓白山十八ヶ所があった。そして、「御金山跡老ヶ所御座候、但八拾四年以前承応元辰年 小川藤左衛門・小川九左衛門様御支配之節ヨリ始り、廿九年以前宝永六丑年室七郎左衛門様御支配之節御留山二被仰付候」とある。この小川、室氏は日田・玖珠地方の天領を支配管理する日田代官。

栗野では、金山を採掘した跡が一ヶ所あり、それは承応元(一六五二)年から始まり、宝永六(一七〇九)年留山(とめやま)入山禁止」となり中止となったとある。

また、「一、郷御藏 但梁間式間半、桁行四間、老ヶ所、此

屋敷地下田老畝、高老斗老升、前々ヨリ御年貢村中ヨリ相弁上納仕来候」とある。栗野村には「郷倉」が一ヶ所(普通庄屋宅近所に一ヶ所から数ヶ所ある)あり、高一斗一升の年貢は村中が支払った。幕府へ納める村の年貢を一時保管する公用の郷倉の敷地にまで、年貢が掛かっている。

また、「御制札 但切支丹御制禁札老枚・火付御制禁札老枚 老ヶ所」とあり、村中に一ヶ所(庄屋宅附近) キリシタンと火付禁止の文章を板に墨書きした高札場があり、台風等で破壊すると公用で修理されていた。村絵図には、必ずこの二ヶ所は明示されている。



金の精錬に用いた石臼

人の動き

弔慰

お悔やみ申し上げます

おめでとうございます

出生

おなまえ	年齢	行政区
甲斐子三郎	79	中村下二
小野三良	65	尾本間
赤峰三良	68	狭間
辻八子	74	青山通り
木村和子	73	陣の内下
田吹長正	80	陣の内上
吉武トシ	88	青山住宅
中原侶二	79	下旦六
熊谷元紀	78	黒猪鹿
松原進	98	黒猪鹿
松岡アサ	91	梶屋
小川スズ	77	前辻二
田吹トシ	70	木納水
武石初男	69	中村中一

8月1日～8月31日届出分

(数称略)

人口と世帯

人口 11,518 人 (+ 7)
 男 5,467 人 (+ 2)
 女 6,051 人 (+ 5)
 世帯 3,922 (+ 6)
 () は前月との増減

おなまえ	性別	保護者	行政区
原田京佳	女	貞治	下旦三
中西杜和	男	佳一	書曲三
梶原愛莉	女	英俊	松岡台住宅
小野光月	女	直之	北恵良一
飯田一哉	男	三郎	青山住宅
長野倅知	女	吉孝	川上二

自律のまちづくりに向けて、「自助」「共助」に該当する取り組みには、このマークをつけています。



今年は「飯田地区農業祭」とコラボ

九重ふるさと祭り×飯田地区農業祭

日時：11月5日(日) 午前9:00～午後4:00
 場所：JA九重町飯田事務所裏ひろば一帯
 駐車場：飯田小・中学校グラウンド及び飯田農協野菜出荷場
 (当日はJA飯田野菜出荷場駐車場と会場近くをシャトルバスが臨時運行)
 町の特産品や新鮮な野菜をはじめ、姉妹都市佐世保市からの海産物などを多数用意。また、特設ステージでは郷土芸能をはじめとした各種催しも盛りだくさん。多くの方のご来場をお待ちしています。
 問い合わせ 企画調整課 ☎76-3807

- 特設ステージでの催し物** 郷土芸能・文化振興会議芸能・佐世保芸能・カラオケ大会
こども園及び小中学校のイベント・歌謡ショー・お笑い演芸
- バザーコーナー及び特産品販売** 地元でとれた新鮮な農産物や特産品及び佐世保市からの海産物の販売、焼肉コーナーなど各種バザーコーナー
ふれあいゲートボール大会も開催されます。
- 飯田中学校体育館での催し物** こども園幼児及び小中学校の児童生徒の作品展

会場について
 例年開催していた「活いきランド多目的グラウンド」は、大分国体ホッケー会場として工事中で使用ができません。そのため、「九重“夢”大吊橋」完成イベントの一つとして位置づけ今年飯田地区農業祭と共催することとなりました。

* 会場の都合により、例年行っていました催し物の一部を中止しました。ご了承ください。 * 内容については、変更する場合があります。

10月のお知らせ

町長と語る
ふれあいタイム

10月14日(第2土曜日)
午前10時～午後4時(日中開催)

10月28日(第4土曜日)
午後6時～午後9時(夜間開催)

場所は町長室です。お気軽においでください。

もんじ

■ 九重“夢”大吊橋もうすぐオープン	2・3	■ 東飯田夏祭り/野上中運動場改修	14
■ 第52回成人式	4・5	■ 城みちるさん深和訪問/ALT	15
■ 九重樽太鼓	6	■ 麻生三子さん・井上通泰さん	16・17
■ 九重町民劇場「新・東京物語」	7	■ 保健(うつ病)	18
■ 盆踊り/川西夏祭り/新茶まつり	8・9	■ 図書館だより	19
■ 時松ミ立子さん(サルビア)	10	■ 乳幼児医療改正/くらしの安心相談ほか	20
■ ヒゴタイとミヤマキリシマの保護	11	■ くらしの情報	21～23
■ ニュースクラップブック	12・13	■ 人権/休日当番/歳時記/時間旅行	24・25

● リゾート再生の達人、星野佳路(よしはる)さん。各地で経営破たんした大型リゾート施設を次々に建て直し、現在も3つのリゾートと7つの温泉旅館の再生を担当しています。運営開始から3年で黒字化という目標は、現在のところ失敗なし。再生で大切なことは2つあるといいます。食や言葉、文化などでその地方の魅力をしっかりと表現すること。そして社員満足度を上げること。現場に初めて出向いたとき星野さんはスタッフ(社員)にこんな第一声を投げかけます。「みなさんがこの主役です」。それを聞いたスタッフの表情は見る見る明るく変化、やがてスタッフのやる気を育て、3カ月でものすごく変わり、それが顧客満足度の上昇、そして経営改善につながっていくといえます。● 九重“夢”大吊橋オープンに向け、わずかとまりました。この橋の行方の鍵を握るのは、ここを訪れる観光客ではなく、ここに住む住民でいかと考えています。「橋を作っただけでは何にもならない」。繰り返し言われてきたことです。これをどうまちづくりの材料に仕立てていくのか。夢は橋にあるのではなく、住民の中にこそある。そういった意味を込め、冒頭記事のタイトルを「この“夢”はみんなのもの」としました。リゾート再生は、たった3カ月で大きな変化があるというのなら、まだまだ遅くありません。また橋を九重町再発見の手段と考えて、町全体で食や文化といった魅力を再点検・発信することも重要なものでは、単なる観光施設に終わらせるのであれば、やがて飽きられるのは明らか。● 今年度の折り返しです。おかげさまでたくさん記事に恵まれています。心配なことも、ページが足りないのです。毎月26ページ平均で予算を組んでいるのですが、これまでのところ平均29ページ。ただ、「JS」広報は「みんなのもの」と考えていますので、登場していたたくさん人を減らすなどは考えていません。あるとき、他市の広報担当者から「広報紙とは？ひと言で」と聞かれたのですが、今改めて考えてみると「町の基礎体力」かな。体力を落としていきたいと思います。 Kocho-T

編集後記

● リゾート再生の達人、星野佳路(よしはる)さん。各地で経営破たんした大型リゾート施設を次々に建て直し、現在も3つのリゾートと7つの温泉旅館の再生を担当しています。運営開始から3年で黒字化という目標は、現在のところ失敗なし。再生で大切なことは2つあるといいます。食や言葉、文化などでその地方の魅力をしっかりと表現すること。そして社員満足度を上げること。現場に初めて出向いたとき星野さんはスタッフ(社員)にこんな第一声を投げかけます。「みなさんがこの主役です」。それを聞いたスタッフの表情は見る見る明るく変化、やがてスタッフのやる気を育て、3カ月でものすごく変わり、それが顧客満足度の上昇、そして経営改善につながっていくといえます。● 九重“夢”大吊橋オープンに向け、わずかとまりました。この橋の行方の鍵を握るのは、ここを訪れる観光客ではなく、ここに住む住民でいかと考えています。「橋を作っただけでは何にもならない」。繰り返し言われてきたことです。これをどうまちづくりの材料に仕立てていくのか。夢は橋にあるのではなく、住民の中にこそある。そういった意味を込め、冒頭記事のタイトルを「この“夢”はみんなのもの」としました。リゾート再生は、たった3カ月で大きな変化があるというのなら、まだまだ遅くありません。また橋を九重町再発見の手段と考えて、町全体で食や文化といった魅力を再点検・発信することも重要なものでは、単なる観光施設に終わらせるのであれば、やがて飽きられるのは明らか。● 今年度の折り返しです。おかげさまでたくさん記事に恵まれています。心配なことも、ページが足りないのです。毎月26ページ平均で予算を組んでいるのですが、これまでのところ平均29ページ。ただ、「JS」広報は「みんなのもの」と考えていますので、登場していたたくさん人を減らすなどは考えていません。あるとき、他市の広報担当者から「広報紙とは？ひと言で」と聞かれたのですが、今改めて考えてみると「町の基礎体力」かな。体力を落としていきたいと思います。 Kocho-T

町の面積 271.41km² / 町の木 くぬぎ 花 ミヤマキリシマ 鳥 カッコウ